

第4回 福井南警察署協議会

開催日時	令和6年12月12日（木）午後1時30分から
開催場所	福井南警察署 講堂
出席者	福井南警察署協議会委員 7名 福井南警察署員署長以下 8名
協議会の概要	
1 議事概要 (1) 協議会会長挨拶 (2) 警察署長挨拶 (3) 議事 ア 警察署協議会代表者会議の伝達 イ 令和6年11月末までの取組 2 意見・質疑及び応答 ○ 委員：運転免許証を返納する人の平均年齢は何歳くらいか。 ● 警察：平均年齢の資料はないが、高齢の方を中心に返納していただいている。 ○ 委員：運転免許証の返納を考えている人もいるが、運転免許証を返納すると買い物や病院に行けないことが問題となり、返納を思いとどまっている人が多い。 ● 警察：車が運転できなくなると不便が多くなる。家族のフォローがあればいいが、一人暮らしの方などはフォローも受けにくい。 難しいところではあるが、万が一、事故を起こしてからでは遅い。 本当に難しいところではあると思っている。 ○ 委員：私たちの地区でも、運転免許証の自主返納の話が出るが、免許返納をしたらどこにも行けなくなる。昨年10月に私たちの地区を走るバスが、予告もなく全線廃止された。学生はもちろん、高齢者も病院に行けなくなっている。 運転免許証を自主返納したくてもできない。地域交通の充実を考えていただくよう、警察からも市や県に働きかけを行い、県全体で交通網を充実させてから運転免許証の自主返納を推進していかなければならないと思う。 ● 警察：運転免許証の自主返納は、警察だけの取組ではなく、県や市町も進めるべき対策の一つである。2年に1回、県と警察と公安委員会で安全安心プログラムを策定しているが、運転免許証の自主返納に関しては、県の取組項目にも入っており、運転免許証を自主返納した時の不便さを解消するための取組を進めてもらわなければならないと考えている。 ○ 委員：高校文化祭での広報活動を始め、警察の活動は多種多様で大変だと思うが、高校の文化祭での広報活動による学生との交流は大切だと思う。 普段、警察活動のソフトな部分しか見ていないが、交通事故や犯人、被害者の対応など最前線のところで警察官が活動していることや、犯罪が巧妙化する中で、警察官が体を張らないといけない大変さを痛切に感じた。	

- 委員：夜間、近所の公民館の駐車場に車両が停まっていたため声をかけたところ、明らかにお酒を飲んで休んでいる状況だった。
駐車場から出て行ってもらったが、その車のナンバーを記録したり、その場で警察に通報すべきだったかもしれないと、後から考えた。その様な時はどうすればいいのか。
- 警察：警察は24時間活動しており、事件ではないような不審者であっても対応しているので、自身の安全を守っていただくため、夜中でも警察に通報していただきたい。
- 委員：東京や大阪を見ていると、県内でもペダル付き原動機付自転車に対する対策が今後必要になってくると思う。今のうちから検討していただきたい。
- 委員：ペダル付き原動機付自転車は、今年に入って2件検挙している。ペダル付き原動機付自転車の広報を本部と連携して行い、取締りに関してもしっかりと目を光らせていきたい。

